

第30回生物化学的測定研究会学術集会

「プラスチック汚染に係る国際動向」

海洋のプラスチック汚染が注目されて以降、粒径が5 mm以下のマイクロプラスチックの生態系への影響が懸念され始めている。マイクロプラスチックはトイレタリー商品の使用や合成繊維の洗濯等からの1次排出、環境中で紫外線劣化や物理的な摩耗・粉砕による2次排出があり、いずれも河川や土壌中に分散し、最終的に海洋へと放出される。近年、各国が海洋水、河川水中のマイクロプラスチックのインベントリー調査を行っており、計測方法を統一するための国際標準化が進められているところである。国際機関や各国政府機関がプラスチックの環境汚染の状況把握を進める一方、産業界ではプラスチックを持続可能に使用し続けるために、生分解性プラスチックの開発やプラスチックのリサイクルの取り組みが進められている。

本シンポジウムでは国際標準化機構（ISO）で進められているマイクロプラスチックの計測方法や生分解性プラスチックの評価方法、毒性評価、産業界でのリサイクルへの取り組みについて情報を共有し、プラスチック問題について理解を深める。

- 期日：令和7年6月16日（月） 13:00~17:00（受付 12:30~）
- 会場：森永製菓株式会社 鶴見サイト R&D センター 2階 CONFERENCE ROOM（神奈川県横浜市鶴見区下末吉2丁目1-1）
- オーガナイザー：大野 香代（一般社団法人産業環境管理協会 国際協力・技術センター所長）
- プログラム

13:00-13:20 総会

13:20-13:25 開会の挨拶

13:25-14:05 講演1 「マイクロプラスチック計測方法の国際標準化動向」
大野 香代（一般社団法人産業環境管理協会
国際協力・技術センター所長 ISO/TC146/SC2/JWG1 プロジェクトリーダー）

14:05-14:45 講演2 「バイオプラスチック（生分解、バイオベース）に関する ISO 国際標準化活動」
国岡 正雄（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 研究戦略本部 知財・標準化推進部 標準化推進室 標準化オフィサー ISO/TC61/SC14/WG2 コンビナー）

14:45-14:55 休憩

- 14:55-15:35 講演3 「マイクロプラスチックの毒性評価」
鑑迫 典久 (国立大学法人愛媛大学 農学部・大学院農学研究科 生物環境学専攻環境保全学コース 環境計測学研究室 教授)
- 15:35-16:15 講演4 「洗濯等より排出される繊維状マイクロプラスチックへの対応」
大松沢 明宏 (日本化学繊維協会 技術グループ長)
- 16:15-16:55 講演5 「産業界におけるプラスチックリサイクルの取り組み」
中村 健太郎 (クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス：CLOMA 事務局)
- 16:55-17:00 閉会のあいさつ
鑑迫 典久 (生物化学的測定研究会 会長)
- 18:00-20:00 交流会 (参加希望者のみ、会場近郊にて開催予定)

■参加形式：対面

■参加費：会員：3,000 円、非会員：5,000 円、学生：無料
交流会：5,000 円 (予定)

■参加費支払方法：当日受付支払い

■要旨集：ホームページに掲載予定 (要パスワード)。パスワードは参加申し込み者に事前にお知らせします。

■参加申込方法

下記 URL または QR コードより 6 月 9 日(月)までにお申込みください。

QR コード



申込 URL：<https://forms.office.com/r/wZk7pMQDAh>

(上記よりお申し込みが出来ない場合は、事務局へメールにてご一報ください)。

■会場案内：森永製菓株式会社 鶴見サイト R&D センター 2 階 CONFERENCE ROOM

【住所】〒230-8504 神奈川県横浜市鶴見区下末吉 2 丁目 1-1

【交通アクセス】JR 京浜東北線「鶴見駅」東口又は京浜急行「京急鶴見駅」西口を出て、バス乗り場 1 番、2 番から乗車し、「森永工場前」で下車ください。

正門で受付し、受付の案内に従い、R&D センター 2 階 CONFERENCE ROOM にお越しください。

※駐車場がありませんので、必ず公共機関を使用してお越しください。

問合先：生物化学的測定研究会事務局 (担当：油谷)

〒230-8504 神奈川県横浜市鶴見区下末吉 2-1-1

株式会社森永生科学研究所内

学術集会に関するお問い合わせ E-mail：basj_admin@basi.info

その他、研究会に関する事務局へのお問い合わせ E-mail：basj@morinaga.co.jp

HP：<https://www.basj.info>